

Nurse Recruitment Guide

看護師募集案内





高度救命救急
指定病院

地域がん診療
連携拠点病院

京都第二赤十字病院

令和6年4月
高度救命救急センターへ

地域医療
支援病院

災害医療



京都第二赤十字病院の理念

歩み入る人にやすらぎを
帰りゆく人にしあわせを

看護部
理念

共に学び共に成長

目指す看護師像

- 赤十字の基本原則に基づき、患者の生命及び人権を尊重したケアができる看護師
- 専門的知識と看護技術、判断力、根拠のある看護を実践できる看護師
- 看護実践をリフレクションし、専門職として成長できる看護師
- 看護専門職として多職種協働チームに貢献できる看護師
- 患者の意思を尊重した生活の実現を目指し、地域社会と連携・協働できる看護師
- 赤十字活動を通して、地域社会の人々の健康の保持・増進に貢献できる看護師

看護師の配置

- ☐ 救命救急センター
 - ・救急病棟 (20床) 4対1
 - ・SCU病棟 (6床) 3対1
 - ・ICU (8床) 2対1
 - ・初療室
- ☐ 一般病棟 (11単位) 7対1
- ☐ 手術室 (10室11ベッド)
- ☐ 一般外来・中央処置室
- ☐ 治療室
 - ・化学療法センター
 - ・血管撮影室
 - ・内視鏡センター
 - ・血液浄化センター
- ☐ 入院支援室
- ☐ 退院療養支援室

看護体制

2交代制 (12時間)	
日勤	8:30~17:00
長日勤(ロング日勤)	8:30~21:00
夜勤	20:15~9:00
3交代制 (初療室のみ)	
深夜勤	0:10~8:40
日勤	8:30~17:00
準夜勤	16:00~0:30
変則2交代制 (手術室のみ)	
日勤	8:30~17:00
夜勤	16:00~9:00

全病棟
2交代制です

あなたへの メッセージ

当院は赤十字病院の理念に基づき、高度な救急医療の提供・地域医療への貢献を柱にしています。急性期病院であるため、看護師の観察力や判断力が求められることも多いです。

そんな中でも私たちは、患者さんに寄り添う看護を目指しています。時間的に余裕がない状況でも、患者さんが何を考え感じているかを大事にし、継続的で個別的な看護を提供したいと考えています。

そして共に学び共に成長し合える仲間を広く求めています。

あなたの理想とする看護を京都第二赤十字病院で実現させてみませんか。

看護部長

キャリア支援



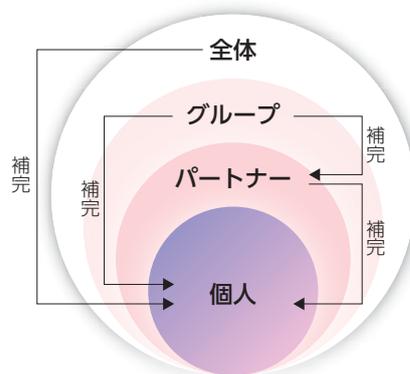
看護部 教育理念

赤十字理念に基づき、
豊かな感性、自己教育力を身につけ
理論を実践に応用できる看護師を育成する。

パートナーシップ・ナーシング・システム

PNS (Partnership Nursing System)

2人の看護師が安全で質の高い看護をともに提供することを目的に、良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し協力し合って毎日の看護ケアをはじめ、委員会活動、病棟内の係の仕事に至るまで1年を通して活動し、その成果と責任を共有する看護体制です。

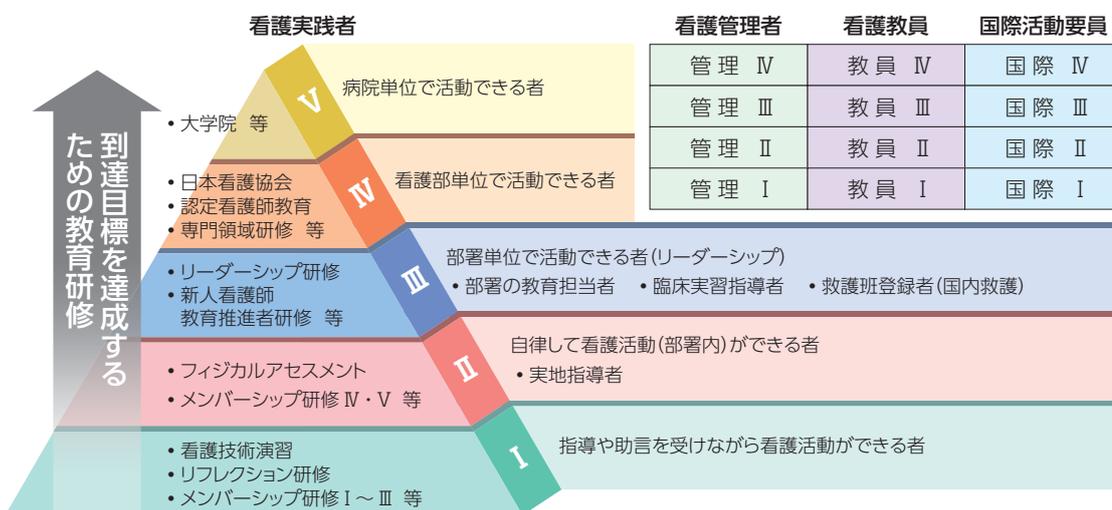


PNSで看護師も患者も
安心・安全な看護を



キャリア開発ラダー

赤十字施設のキャリア開発ラダーを柱とした教育体制を整備しています。



▲ラダー認定授与式



▲ラダーII目指し研修



▲ラダーIII目指し研修

新人看護師の教育体制

NO. 01

新人看護師1年後の到達目標



助言を受けながら、日常ケアに必要な基本的知識を活用し、優先度を決定できる。



対象を一個人として尊重できる。



自分の能力を超えた看護が求められる場合には、自分の役割と責任を認識しながらも、支援や指導を受けよう相談できる。

NO. 02

新人看護師1年間の成長の姿



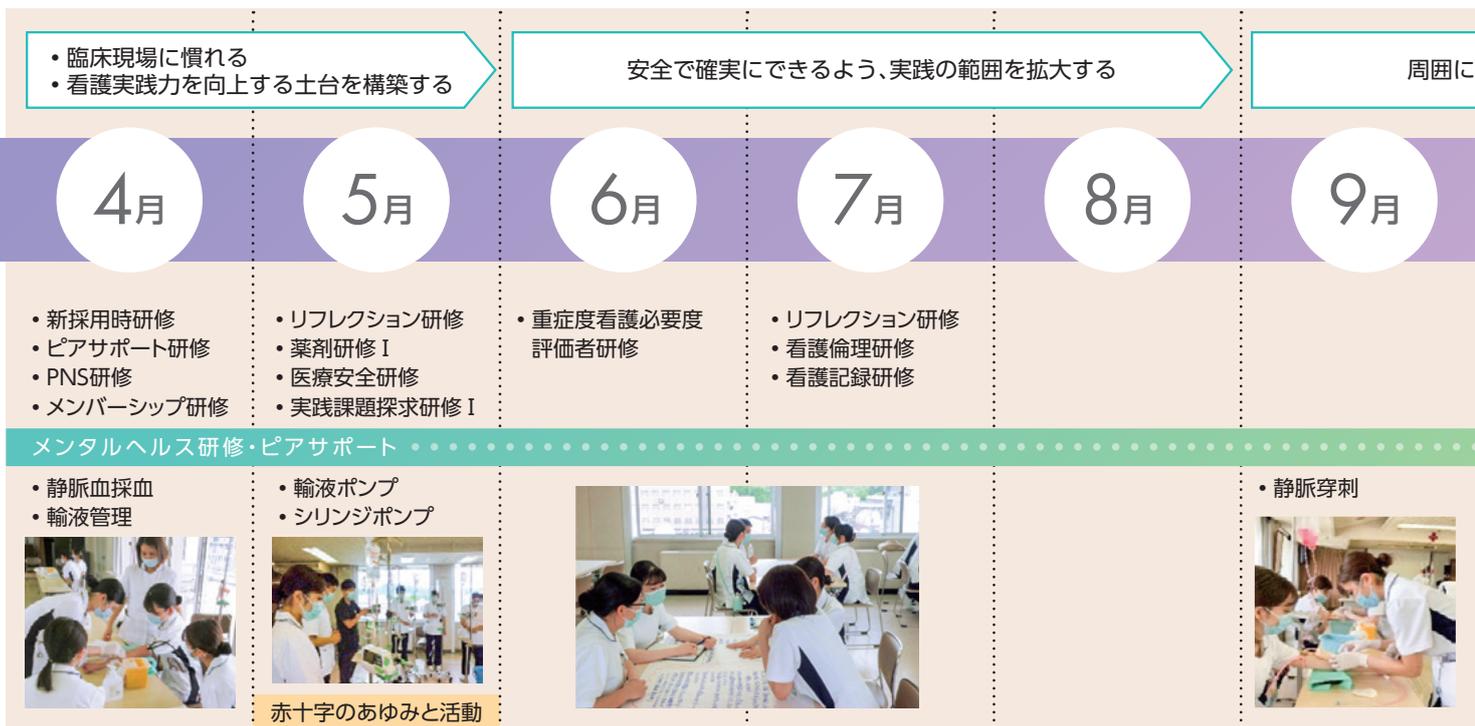
ステージ I

現場に慣れる
看護実践力向上の土台構築

ステージ II

安全確実にできるよう、実践範囲の拡大サポートを受けながら土曜祝の日勤・夜勤を開始

新人看護師の年間スケジュール



看護師一年目の先輩からのメッセージ

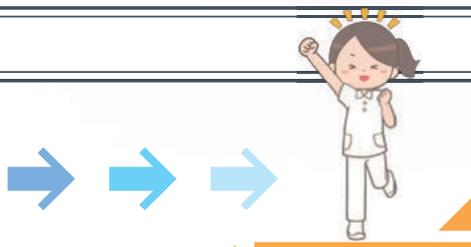


ICU

ICUでは、心筋梗塞や脳卒中、多発外傷などの重症疾患や術後管理目的といった急性期にある様々な患者さんの治療や看護を行っています。PNS看護体制の中で、ペアの先輩看護師とともにアセスメントしながら、少しずつ知識と経験を重ね看護実践が拡大できるよう日々努力しています。その中で私は、専門的知識を高めるだけでなく、日々思いやりを忘れず、その患者さんが大切にしていることやその人の安楽に繋がる看護を大切にしていきたいです。



“ひと自分も大切に” “みんなで育てる” “チーム支援型体制”



ステージⅢ

周囲への関心を向け、確実にできることが増える

一要員として交代制勤務を実施する

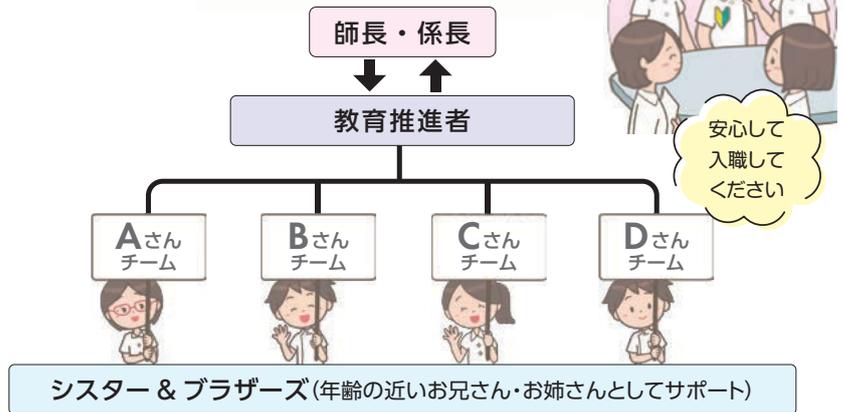
ステージⅣ

部署の一員としての役割と責任を認識し、自部署の特徴的な看護実践をしている

NO.
03

部署での新人看護師の教育体制

PNS 看護方式ともリンクし部署みんなで新人看護師をサポートする体制です



関心を向け、確実にできることが少しずつ増える

支援を受けながら、自部署の特徴的な看護実践をする

10月

- ・メンバーシップ研修
- ・薬剤研修Ⅱ
- ・実践課題探求研修Ⅱ



11月

- ・リフレクション研修



赤十字の現況と課題

12月

- ・急変時対応研修



1月

- ・メンバーシップ研修

赤十字の基本原則と国際人道法

2月



3月

C5北病棟

私は脳神経内科、腎臓・糖尿病・膠原病内科病棟に所属しています。脳梗塞の患者さんは失語などで自分の意思を伝えることが困難な方もいらっしゃいます。そのため、環境や看護に対する反応から患者さんの思いを読み取り、予測することが大切だと感じています。難しさを感じることもありますが、患者さんの思いに寄り添った看護を目指しています。



A6病棟

入職してから1年間は、心臓血管外科・循環器内科疾患の理解を進め、看護業務をいち早く習得し看護チームの一員として働けるよう、勉強面から自身の特徴・思考を日々振り返り、継続して努力してきました。

1年経ち、今一度自身の現状を確認し、新人看護師の支援やチームの一員としてより一層活躍できるように努力を続けていきたいと思っています。

卓越した看護を展開する スペシャリストの活躍

SPECIALIST

専門看護師



がん看護

がん看護専門看護師として、外来化学療法センターでがん患者さんを中心にサポートさせて頂いています。患者さんひとり一人に寄り添い、治療に伴う副作用のケアや精神的なサポートを行いながら、QOL（生活の質）の向上を目指しています。チーム医療の一員として、医師や薬剤師、多職種と連携し、患者さんの「こうありたい」を支える看護を目指し活動しています。



急性・重症患者看護

ICUで急性・重症患者看護専門看護師として活動しています。急な病気の発症で重篤な状態になった患者さんの全身状態の安定化や合併症予防に日々努めています。また、家族の不安に寄り添い、患者さんが治療のゴールに近づくための最善のケアを考え、提供しています。所属部署以外にも、病棟からのコンサルテーションに対応し、患者ケアのサポートなどを行っています。

認定看護師



がん放射線療法看護

放射線治療はがん治療の3本柱の一つですが、他のがん治療と比べ、まだ認知度が低いのが現状です。がん放射線療法看護認定看護師として、放射線治療室で患者さんが安全・安楽に治療を受けられるよう多職種と協働し、治療をサポートしています。また他の専門・認定看護師と共にフィジカルアセスメント研修やがん看護研修のサポートを行っています。



手術看護

手術室内では一緒に手術に就きながら主に手術体位や体温管理、DVT予防、コンパートメント対策などの実践や指導を行っています。また周術期として術前外来を開業し、手術患者が安全に手術を受け回復に向かうような様々な取り組みを行っています。その他、術後疼痛管理チーム、呼吸ケアチームにも所属し日々のラウンドや対応を多職種と協働しています。



感染管理

患者さんと職員だけでなく、病院に関わるすべての人が感染症に罹患したり、拡げたりしないように、医師・薬剤師・臨床検査技師とチームで活動しています。日常的な感染対策の指導をはじめ、院内における感染症発生状況の把握や対応、感染対策に関わるさまざまな相談に応じています。



慢性心不全看護

外来で心不全患者さんに面談し、体調の確認や療養生活の聞き取りを行い、心不全の増悪を回避し、その人らしい生活・人生（LIFE）を送れるような支援を心掛けています。私と話すことで安心するという患者さんの声、勉強熱心な外来スタッフ、信頼できる医師、外来診療に関わる多職種の皆様に支えられ、やりがいに満ちた毎日を送っています。



救急看護

臨床推論力や病態判断力で水準の高い看護を実践し、実践を通して看護師に指導を行うこと、相談に応じることが主な役割です。活動の幅は広がっており、家族看護、意思決定支援、多職種連携、職員や地域での一次救命処置の指導など多岐に渡ります。実践を通して人とのつながりが広がることも認定看護師の大きな魅力です。いつでも手を差し伸べられる存在として活動しています。

特定認定看護師



認定看護師教育課程（手術看護分野）と特定行為研修（術中麻酔管理パッケージ）修了後、現在3日/週、手術室で麻酔監視業務に携わっています。

機動動脈ラインの挿入や麻酔器の換気条件の変更、輸液の投与量調整、気管チューブの位置の調整など、麻酔維持に必要なとされる侵襲的医行為を包括的指示のもと実践しています。

赤十字の看護師である誇り

災害救護看護師



災害看護に貢献することも赤十字看護師の大きな役割です。当院では、看護師や医師などで構成された救護班や DMAT を常設し、これまでに阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震の災害救護活動に参加しています。

救護班としての活動をするためには、院内で実施している救護員としての赤十字研修を終了、DMAT として活動するためには、院外で行われる養成研修を修了する必要があります。



幼児安全法指導員



幼児安全法指導員として活動をしています。

幼児安全法講習会は赤十字活動である講習普及事業の一つとなります。子どもの成長や発達を理解し事故を防止し、いざという時の手当などの知識と技術を習得できる講習会です。子どもに関わる保育士さんや医療者、そして一般市民の方にも知識を広める活動をしています。

ワークライフバランスを支援

子育て中看護師



育児短時間制度を利用しています。子どもとの時間を大切にしながら、仕事に励むことができます。



また、勤務時間内の研修もあり、今後のキャリアが相談しやすいので、自分らしく働き続けられています。

チームで質の高い医療を

多職種でのチーム医療



多職種が連携することで、様々な角度から患者に関わることができ、より質の高い医療・ケアに繋がります。

カンファレンスにおいて看護師は、多職種の意見を調整し、患者や家族の意思を尊重できるように働きかけています。

- ・栄養サポートチーム
- ・褥瘡チーム
- ・緩和ケアチーム
- ・糖尿病ケアチーム
- ・認知症ケアチーム
- ・呼吸ケアチーム
- ・嚥下サポートチーム
- ・リンパ浮腫ケアチーム
- ・精神科リエゾンチーム
- ・術後疼痛管理チーム
- ・フットケアチーム
- ・脳卒中ケアユニット運営チーム
- ・造血幹細胞移植チーム
- ・骨粗鬆症リエゾンチーム
- ・化学療法チーム
- ・入院重症患者対応チーム
- ・院内災害対応推進チーム
- ・身体的拘束最小化チーム



福利厚生が充実しています



▲保育施設



▲院内旅行

- 休日
4週8休(祝日勤務には代休あり)
- 有給休暇
年24日(4月採用者は4月に発生)
*次年度持ち越し可能
- 特別有給休暇
結婚休暇・忌引休暇・介護休暇・看護休暇・
夏季休暇など
- 自己啓発支援
業務上必要な研修等受講費用の一部補助
- 職員宿舎
単身者用契約マンションあり
- 保育施設
院内保育所あり(夜間保育、病児保育対応)
- 職員厚生会支援
院内旅行・部活動・球技大会
当院での受診、入院に対し一部援助あり

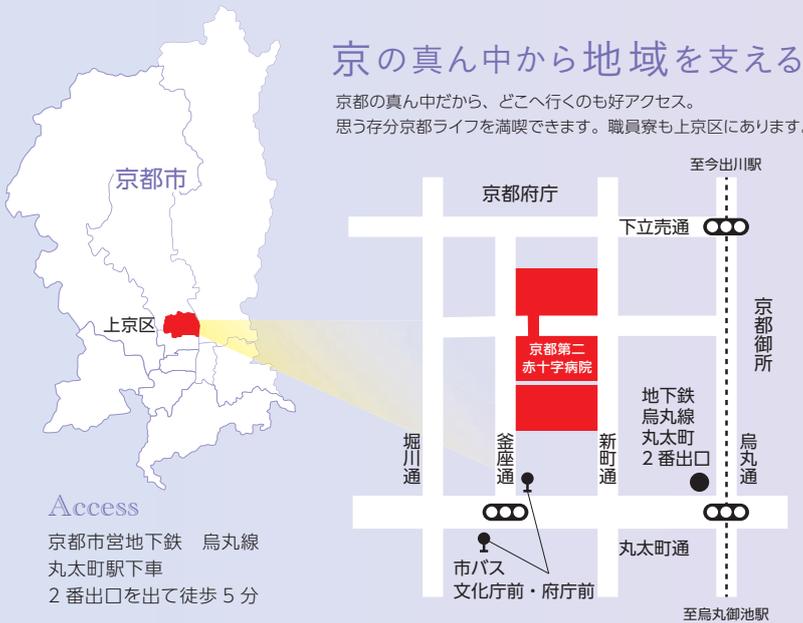


▲バレーボール部



▲フットサル部

他にもたくさん部の活動があります。



病院概要

- 許可病床数
一般病床 667 床
- 診療科目
総合内科(内科)、血液内科、代謝・内分泌内科、腎臓内科、膠原病内科、こころの医療科(精神科)、脳神経内科(神経内科)、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、初期診療・Acute Care Surgery科、救急集中治療科、病理診断科、腫瘍内科、緩和ケア科
- 主な医療制度指定・承認病院
高度救命救急センター・地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・地域周産期母子医療センター・臨床研修指定病院等

京都第二赤十字病院 看護部紹介

ホームページ



Instagram



日本赤十字社 Japanese Red Cross Society **京都第二赤十字病院**

〒602-8026 京都府京都市上京区金座通丸太町上ル春帯町 355 番地の5
TEL. 075-231-5171 FAX. 075-256-3451